

## 上早川産そばに舌鼓

上早川北部資源保全会で「そば祭り」

11月26日（日）龍野福祉ふれあいセンターで、「そば祭り」が開催されました。

同祭りは、耕作放棄地の解消と地域住民の交流を図ることを目的として地域住民で結成された上早川北部資源保全会（田上晴二代表）が主催し、2年ぶりに開催。同会では、遊休農地を活用してソバの植え付けから収穫までを取り組んでいます。

当日は、地域住民など約80人が出来立てのそばを味わい、参加者は「毎日食べたいほど美味しい」と話しました。



▲出来立てのそばに舌鼓を打つ地域住民たち

## 人権について考えよう

平成29年度甲佐町「人権週間」



▲12月9日（土）第35回甲佐町「人権週間」町民集会后に、市街地をパレードして人権意識を高める参加者の皆さん



▲放水訓練を行う下豊内区の防災訓練参加者

## 町全体で災害に備える

12月17日（日）町総合防災訓練を実施

12月17日（日）、町総合防災訓練が行われました。同訓練は、熊本地震での対応を教訓に大規模災害に備えるため、町が初開催。2033人が参加しました。

町内全域での豪雨と大地震を想定し、発災後直ちに町災害対策本部を設置。避難勧告を発令し、指定避難所を開設するなどの模擬訓練を実施しました。町職員は非常呼集による震災対応に当たるとともに、避難所運営の研修を受講しました。

また、各区の自主防災組織では、地元消防団員や住民が避難誘導や消火訓練、炊き出しなどに取り組みました。

12月4日（月）～10日（日）、平成29年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、甲佐町人権週間実行委員会（沼田峰子会長）、町、町教育委員会が主催。同和問題などのあらゆる人権問題の解決や基本的人権の尊重、町民の人権意識の普及と高揚を目的に、毎年実施しています。

期間中は、特設人権（法律）相談の開設、街頭や企業訪問による人権啓発広報活動の実施、書道など人権作品の展示などを実施しました。

同週間のメイン行事として、12月9日（土）町生涯学習センターで、第35回甲佐町「人権週間」町民集会を開催。約180人が参加し、町内の児童・生徒による人権作文や体験活動の発表などがありました。

人権講演会では、講師の松川由美さん（モバイル・ネットワーク研究所代表）が「ネット社会に潜む人権問題」という演題で、ネット社会で起きているさまざまな問題について講演。集会后には街頭パレードも行って、人権意識を高めました。

▼左から空手の霍本選手、陸上競技・駅伝の飯田競技者と戸高競技者



校空手選抜大会・南・北九州ブロック予選と全九州新人大会に、霍本萌選手（上豊内区・九州学院高2年）が個人組手・団体組手に出場しました。同高は全九州大会の団体組手で3位となり、3月に香川県で行われる全国高校空手選抜大会に出場します。霍本選手は、「優勝目指してがんばります」と意気込んでいます。

## 地形と地震について学ぶ

第11回『新甲佐町史』歴史研修会を開催

11月26日（日）町生涯学習センターで、第11回『新甲佐町史』歴史研修会が開催されました。

同研修会は、平成25年3月刊行の『新甲佐町史』を用いて、本町の今と昔を考え成り立ちを追うことを目的に、町教育委員会が主催。

今回は、「甲佐町における熊本地震の影響」という演題で、講師の阿蘇火山博物館長の池辺伸一郎さんが講演。町民の地震への関心は高く、今年度最高の64人が来場し本町の地形と熊本地震について学びました。



▲池辺阿蘇火山博物館長の講演に熱心に耳を傾ける受講者

## 九州大会に出場

町内の高校生3選手が活躍

11月に開催された九州大会に、町内から3選手が出場して、活躍しました。

11月18日（土）沖縄県で行われた全九州高校駅伝に、戸高崇央選手（有安区・熊本工高3年）と飯田怜選手（仁田子区・ルーテル学院高3年）が出場しました。戸高選手は2区を、飯田選手は4区を力走。飯田選手が主将を務める同高は、12月24日（日）に京都府で開催された全国高等学校駅伝競走大会にも出場しました。

11月25日（土）・26日（日）に大分県で開催された全国高校空手選抜大会・



▲緑の少年団の育成で表彰された井藤さん

## 緑の少年団の育成功労賞

井藤直行さん（上早川三区）が受賞

11月18日（土）、香川県高松市で開催された「全国緑の少年団活動発表大会」において、井藤直行さん（上早川三区）が「平成29年度緑の少年団育成功労賞」の表彰を受けました。

同表彰は、緑の少年団の育成に著しく貢献された団体または個人を、（公社）国土緑化推進機構が表彰するもので、本年度は全国から8人が表彰。

井藤さんは、平成23年に設立された「龍野小学校緑の少年団」の活動に所有山林を野外活動の場として無償で開放しているほか、野外活動の講師を務めるなどさまざまな活動が高く評価され同賞の受賞となりました。